



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1770

2014年  
5月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

## 上野駅分会で 加入歓迎会

上野駅分会は、三月二十八日に、上野駅（JES・新幹線乗換口）で国労加入した堀内さんの加入歓迎会を開催した。

上野支部鈴木書記長の乾杯が始まり、まず来賓あいさつで東日本本部佐藤書記長は「本体とグループ会社含めて労働条件改善、職場の環境改善が図られるよう、全力をあげる。その為に堀内さんの加入が大きな力になる」、続く東京地本松川書記長は「運動の担い手を作っていくという取り組みに、現場の皆さんが応援してくれている。JES発足から一年。様々な問題があり、会社に改善を求めたり、説明を求めると、労働組合として当たり前の事をやっていきたい」などのあいさつを行った。その後、東日本本部伊藤教宣部長、上野支部金子組織部長、東京地本常盤教宣部長からもあいさつがされた。



**歓迎**

**国労加入**

**上野駅分会** 4/11付

**28才**  
新規採用者

**本郷台駅分会** 5/1付

**58才**

## 大宮地区本部 組織拡大交流会 in那須りんどう湖

大宮地区本部は三月二日～三日に「第三回・組織拡大経験交流会」を、那須高原りんどう湖ロイヤルホテルで開催した。開会挨拶は小森執行副委員長が行い「昨年は第二回の経験交流会を大宮で行い、今まで三名の仲間を国労に迎えた。経験交流会の中から学び、一人ひとりが分会に持ち帰り実践しよう」と述べ、続いて中山執行委員長より「今日・明日の二日間を意義のある交流会にして、組織拡大に全力を」

## 東京工作協議会 定期委員会

東京工作協議会は第二六回定期委員会を、四月四日に東京地本会議室に於いて開催した。司会の白井常任委員の開会あいさつで始まり、座長には大井工場支部の高橋委員を選出した。



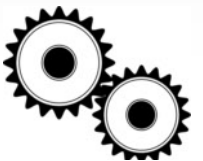
増田事務長のまとめの後、役員改選では、樽井常任委員が勇退し、新たに大井工場支部から高橋秀三さんが常任委員に選出された。座長解任の挨拶後、桜井副議長の閉会の挨拶がされ、最後に木村議長の音頭で「団結頑張ろう」を力強く三唱して定期委員会が終了した。



増田事務長のまとめの後、役員改選では、樽井常任委員が勇退し、新たに大井工場支部から高橋秀三さんが常任委員に選出された。座長解任の挨拶後、桜井副議長の閉会の挨拶がされ、最後に木村議長の音頭で「団結頑張ろう」を力強く三唱して定期委員会が終了した。

められている。そして、組合員一人ひとりが誇りを持って自信に満ちた活動を継続してほしい」などの報告があった。休憩を挟み、四班に分かれての分散交流会を開催。その後、夕食・全体交流会を開催し、地区本部恒例の職協別による決意と自己紹介を行った。また、今回参加してくれた二三歳の新たな仲間も紹介され、組織の若返りに期待しつつ和やかに一日目を終了した。

# 駅遠隔操作システム稼働開始



JR東日本会社は、今年二月以降順次、東京支社五駅、横浜支社九駅、八王子支社七駅（導入駅+制御駅の数）に駅遠隔操作システムを導入し、稼働を開始している。

これは、無人の駅や無人コーナ、または無人時間帯にも自動券売機、自動精算機、自動改札機の運用ができるように、別の駅やコーナからこれらの機械群をコントロールできるように操作するシステム。

このシステムにより、もともと早朝時間帯に無人で自動券売機、自動精算機が停止していた駅（それまでは早朝帯の自動改札機はSuicaのみの限定運用）では、動かせるようになった。その一方、一部改札口では、終日完全無人化が行われたり、一部駅では早朝時間帯の無人化が行われ、合理化、人員削減とともに、窓口営業時間の縮小など、サービス低下が進んでいる。人身事故などの混乱時に、無人改札口からインターホンでの問い合わせが殺到しても、対応しきれず、「解放」扱いで勝手に降りてもらったなどの事象も発生している。

すでに東京支社はあらたに一六駅で導入の検討に入っており、横浜、八王子、大宮の各支社でも検討が行われている。東京地方本部は、営業協議会や各地区本部・支部とともに、既に導入されている箇所の調査・検証を行い、合理化・人員削減反対、サービス低下反対に全力をあげていくので各分会・各組合員の協力をお願いする。

## STOP! 派遣法改悪

労働弁護団などが主催する「労働者派遣法大改悪に反対!の声をあげるつどい」が四月一八日一八時から衆議院第一議員会館において開催され、全体で二二〇名が結集した。この集会には、グリーンスタッフをはじめ、非正規労働者の待遇改善に取り組んでいる東京地方本部からも参加し、学習と交流を行ってきた。

集会では日本労働弁護団鶴飼会長の開会のあいさつに続いて、民主党山井衆議院議員、共産党高橋衆議院議員などからあいさつがされた。その後当事者からリレー報告

この社員の寝室に警報が設置されている。これにより、もともと早朝時間帯に無人で自動券売機、自動精算機が停止していた駅（それまでは早朝帯の自動改札機はSuicaのみの限定運用）では、動かせるようになった。その一方、一部改札口では、終日完全無人化が行われたり、一部駅では早朝時間帯の無人化が行われ、合理化、人員削減とともに、窓口営業時間の縮小など、サービス低下が進んでいる。人身事故などの混乱時に、無人改札口からインターホンでの問い合わせが殺到しても、対応しきれず、「解放」扱いで勝手に降りてもらったなどの事象も発生している。

というところで、現在派遣労働者として働いている方々や、派遣切りにあつて、争議を行っている方々から様々な実態報告がされた。続いて、日本労働弁護団前会長で、非正規全国会議呼びかけ人、国労本部顧問弁護士でもある宮里邦雄弁護士から、「派遣大改悪法案を切る!」と題して基調報告が行われた。その中で宮里弁護士は、政府が来年四月一日の改正を目指し、三月に閣議決定され今国会で成立を目前に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」の改正案について

「一九八五年までは派遣は違法。ピンハネでイビツな働き方とされてきたが、実際は野放しで、限定的な働き方として制度が発足したこと。今回の改正の理由の一つに現在の仕組みはわかりやすく、わかりやすくする」という意見があるが、「企業にとっての話である事。派遣の期間制限に『三年』があるが、今後は労働組合の代表に『意見を聴取』（同意は必要ない）すればさらに三年延長され、実態は無制限になる事。この改正で大きく派遣法は変質し、正社員の不安定雇用にも繋がっていく事。ILOは、労働は商品ではない、としているが、明らかに派遣は商品となっている事。ヨーロッパにも派遣はあるが、正社員と同一賃金が原則で、企業側にメリットが少ない事」などの話がされた。



基調報告を行う宮里弁護士

2014.4.18 労働者派遣法「大改悪」に反対!の声をあげるつどい 非正規労働者の権利実現全国会議・日本労働弁護団・日本労働弁護団東京支部



右はインターホンと券面確認台（カメラ付）



インターホン

**国労東京**  
**ボウリング大会**  
**7/4(金)**  
**11時開始**  
場所:東京ドーム  
ボウリングセンター  
申し込みは  
地区本部・支部へ

**国労東京法律相談**  
毎週第二水曜日  
6/11・7/9・9/10・10/8  
14時~16時(各30分)  
初回無料・要申し込み  
緊急の場合は連絡をください

**「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》**

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

【引受保険会社】アフラック東京第三法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き

【募集代理店】アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-15-5 交通ビル3F

コールセンター **0120-5555-95** 電話 **03-3437-6810** ファックス **03-3437-6822**

**「生きる」を創る。Aflac**

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)  
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン  
入院給付金日額 10,000円 定額タイプ  
保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】アベニール株式会社 東京営業所  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-55-1 国労東京地方本部内  
JR電話 **054-2548** ファックス **03-3806-9275**  
電話 **03-3806-9264**

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日